

平成25年度北陸農政局鳥獣被害対策優良活動表彰
受賞団体の概要

○北陸農政局長賞

ふねがさわしんでん しぜん ゆうわかい
船ヶ沢新田自然融和会

(代表者：代表 高橋 富美男)

(新潟県南魚沼市)

サルやクマを寄せ付けない集落づくりを目指した総合的な取組

○主な取組

- ・サルやクマの農作物被害が拡大したため、住民15名が船ヶ沢新田自然融和会（以下、会）を設立。
- ・会が中心となり住民の理解促進の集落学習会、ワークショップ、集落環境診断等に取り組み実態を把握。
- ・専門家の指導を受けながら大規模緩衝帯の整備、電気柵の設置、サルのテレメトリー調査や分別捕獲等の対応策を実施。
- ・豪雪地帯のため電気柵の設置は、倒伏式や簡易回収式とし、設置や回収が簡単に出来るように工夫。
- ・集落内のバス停に鳥獣被害届ポストを設置し、鳥獣の出没や被害状況、研修会の案内や結果報告等を集約・掲示し情報を共有化。
- ・総合的な取組の実施によりサルやクマの出没が無くなり、農作物への被害が激減。
- ・鳥獣被害が激減したため、耕作放棄地にトウモロコシ、サツマイモ等鳥獣の好む作物の作付けを試験的に再開。

平成25年度北陸農政局鳥獣被害対策優良活動表彰
受賞団体の概要

○北陸農政局長賞

しもしんじょういのししいさくいいんかい
下新庄猪対策委員会

(代表者：区長 やまざき 山崎 しんいちろう 信一郎)

(福井県鯖江市)

集落全体で問題意識を共有し、集落ぐるみで継続的に対策を実施

○主な取組

- ・ イノシシ被害対策を実施するため、平成19年に区長の呼びかけで農家組合が中心となり対策を実施。しかし、非農家も含めた集落ぐるみの活動の必要性を痛感し、集落全世帯参加の取組体制を再構築。
- ・ 集落を31班に分け当番制で電気柵等を管理し、点検日誌の活用により班同士で情報を共有。また、集落の会合等では、鳥獣関係の情報を随時伝達し、他人事にならないように配慮。
- ・ 住民自ら狩猟免許（わな免許）を取得して積極的に捕獲を行い、平成24年にはイノシシ被害がほぼ解消。
- ・ 他集落との意見交換会等にイノシシ料理の試作品を振る舞うなど、捕獲したイノシシ肉の利活用にも積極的。
- ・ 近年は大学生のワークステイや行政研修会などを受け入れ、イノシシ対策の取組を地域活性化に活用。

平成25年度北陸農政局鳥獣被害対策優良活動表彰
受賞団体の概要

○北陸農政局長賞

福井県小浜市
(代表者：市長 まつざき 松崎 こうじ 晃治)

(福井県小浜市)

県内初設置の鳥獣対策室による捕獲、侵入防止、取組体制の構築等の総合的取組

○主な取組

- ・ 21年度に福井県で初となる鳥獣対策専門の室を設置し、市の農業振興施策のうち鳥獣被害対策を最優先課題に設定。①捕獲対策、②侵入防止対策、③集落ぐるみの取組体制の構築に重点を置き、総合的な対策を実施。
- ・ 24年4月には、県猟友会小浜支部3名を含む小浜市鳥獣被害対策実施隊を組織し、365日昼夜を問わず鳥獣被害対策に即応できる体制を構築。
- ・ 獣種に応じた効果的な有害捕獲許可の発行や捕獲報償費の設定などにより、被害面積、被害金額が大幅に減少。
- ・ 県猟友会小浜支部と連携し、地元小学生に狩猟の魅力を伝えるため、堅果類の植樹や獣の足跡探検等の体験活動を通じ有害捕獲の担い手育成活動を実施。
- ・ 市単独事業に野生鳥獣肉を有効活用するための機械導入等を補助対象とし、6次産業化を推進。